

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略プロジェクト蔵inガルテン川越基本計画策定業務委託に係る公募型プロポーザル質問事項回答

番号	質問受付日	質問・回答	
1	2016/4/22	質問	企画提案書は、A4版6ページ以内とありますが、2ページカウントでA3版を使用することは可能ですか。
		回答	A3版の使用を可能とします。なお、A4版2ページをA3版1ページ分とします。
2	2016/4/22	質問	伊佐沼公園周辺に関する既往の構想・計画として「伊佐沼及び伊佐沼周辺整備基本構想」及び「伊佐沼公園基本計画」等があるようですが、これらを見ることはできますか。
		回答	伊佐沼公園基本計画について、公園整備課(本庁舎5階)で閲覧ができます。(窓口での閲覧になります。)
3	2016/4/25	質問	提出書類で様式3と8の3部で、代表者印は正1部、他の2部は副としてコピーでも良いでしょうか。
		回答	正1部、副としてコピー2部を提出いただくことも可能です。
4	2016/4/25	質問	プレゼンテーションの内容は、企画提案書を補足するものを追加しても良いでしょうか。
		回答	ヒアリング審査の説明資料は企画提案書といたします。当日、追加資料は認めません。
5	2016/4/25	質問	審査委員は、庁外の方もおられるのでしょうか。
		回答	審査委員は全員庁内の委員となります。
6	2016/4/25	質問	本市が保存している「蔵」の活用も検討する。とありますが、どのような蔵(市街地の店蔵、倉庫蔵、郊外の古民家住宅の付属蔵等)が何棟くらいあるのでしょうか。
		回答	グリーンツーリズムの拠点のあり方の検討のなかで、川越ならではの「蔵」の活用をイメージして検討するものです。建築手法等を提案に求めるものではありません。
7	2016/4/25	質問	グリーンツーリズムの拠点の整備の対象範囲はどこまででしょうか。
		回答	グリーンツーリズムの拠点としては、農業ふれあいセンター及びその周辺を想定していますが、具体的には基本計画策定の中で検討します。

8	2016/4/25	質問	農業ふれあいセンターの設立年次、経緯と運営主体をお教えてください。
		回答	農業ふれあいセンターの設立は平成元年、「市民が農業体験を通じ農業に対する理解を深めるとともに、農業関係者に研修の場を提供することによりその資質の向上を図る」ために国庫補助も得て設立しました。運営主体は川越市です。
9	2016/4/25	質問	次年度以降の事業化に当って、想定されている予算規模や交付金の取得の予定、スケジュールなど事業フレームをお教えてください。
		回答	次年度以降の事業化に係る予算については、本業務委託の検討結果を踏まえて予算化していくことを想定しています。また、交付金等については、検討内容に応じた交付金・補助金メニューの提案があった場合には、参考とします。スケジュールなどの事業フレームについては、川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略P34～35に記載されているとおりです。
10	2016/4/25	質問	総合戦略の「健康食レストランと連携」や「伝統的な建築物等を移築・活用」という記述がありますが具体的に決まっていることがあればお教えてください。また、伊佐沼庵との関係はあるのでしょうか。
		回答	伊佐沼庵を含め、具体的に決まっている事項はありません。周辺施設との連携については、川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略P34～35に記載のとおりです。
11	2016/4/25	質問	総合戦略の「伝統技術」や「既存宿泊施設」とは具体的にはどのような技術や施設でしょうか。
		回答	基本計画策定の中で検討を行います。
12	2016/4/25	質問	本市が保存している「蔵」の活用も検討する」と記載されております。「蔵」の諸元(現在の所在地、建築面積、延床面積、階数、築年数等)について、可能な範囲でご教示いただけませんかでしょうか。
		回答	グリーンツーリズムの拠点のあり方の検討のなかで、川越ならではの「蔵」の活用をイメージして検討するものです。建築手法等を提案に求めるものではありません。
13	2016/4/25	質問	「行政計画の実績」と記載されております。本評価項目については、件数が多いほど評価されるとの理解でよろしいでしょうか。
		回答	プロポーザル実施要領により、参加資格として地方公共団体の計画策定業務の実績を求めています。なお、行政計画の実績について、件数のみの評価ではございません。